

問1 明治時代、西洋画の技法を参考にしつつも、社会の急速な変革に対して慎重な立場をとり、日本の伝統を重んじた文化活動について述べた文として、正しいものはどれですか。（2021年 愛知公立入試 類似）

1. 伝統美術の価値を再発見した岡倉天心が、日本画の復興や文化財の保護を通じて文化の継承に貢献した。
2. ルソーの思想を広めた中江兆民が、議会の開設を求めて政府を厳しく批判する政治活動を展開した。
3. 欧米の進歩した制度を模範として、伝統的な仏教施設などを破壊し近代化を急ぐ廃仏毀釈が行われた。
4. 政府が派遣した岩倉使節団が、欧米の優れた法制度や技術をそのまま日本に導入することを決定した。

問2 1910年の韓国併合後、日本は朝鮮総督府を設置して植民地支配を進めましたが、1919年に朝鮮半島全土で「独立万歳」を叫ぶ大規模な運動が発生しました。第一次世界大戦後の民族自決の機運にも影響を受けた、この運動を何といいますか。（2022年 福島県公立入試 類似）

1. 三・一独立運動
2. 甲午農民戦争
3. 五・四運動
4. 義和団事件

問3 1894年に朝鮮半島で農民の反乱が起きた際、日本と清の両国が出兵し、日清戦争へとつながった経緯について説明したものとして最も適切なものはどれか。（2023年 愛媛公立入試 類似）

1. 朝鮮政府が反乱鎮圧のために清に援軍を求めたことに対抗し、日本も居留民保護などを理由に出兵して、現地で両軍が衝突した。
2. 日本と清が共同で農民軍を支援し、朝鮮政府を倒そうとしたが、その後の利害対立から両国間で戦争が始まった。
3. 欧米列強による朝鮮半島の植民地化を阻止するために、日本と清が協力して反乱を鎮圧した後、日本の主権を認めさせるために対立した。
4. 農民軍が日本の公使館を占領したため、日本は清の許可を得た上で大規模な軍隊を派遣し、そのまま清との全面戦争に突入した。

問4 大日本帝国憲法の公布（1889年）から、第一次世界大戦後のベルサイユ条約調印（1919年）までの時期に日本で起こった出来事として、正しいものはどれですか。（2023年 埼玉公立入試 類似）

1. 官営の八幡製鉄所が設立され、日本の産業において重工業が発展するきっかけとなった。
2. 鹿鳴館が建設され、欧米諸国に日本の近代化を示すための外交政策が活発に行われた。
3. 普通選挙法が制定され、満25歳以上のすべての男子に選挙権が与えられるようになった。
4. 国家総動員法が制定され、戦争のために国民や物資を強制的に動員する体制が整えられた。

問5 1895年、日清戦争の講和条約が結ばれた直後に、ロシア・ドイツ・フランスの3国が日本に対して行った要求の内容として正しいものはどれですか。（2024年 山形公立入試 類似）

1. 下関条約で日本への割譲が決まった遼東半島を、清に返還すること
2. 下関条約で日本への割譲が決まった台湾を、清に返還すること
3. ポーツマス条約で認められた樺太の南半分を、ロシアに譲渡すること
4. 下関条約で認められた朝鮮の独立を取り消し、再び清の属国とすること

問6 明治時代初期に岩倉具視を特命全権大使として派遣された岩倉使節団は、アメリカ合衆国の社会を視察し、その様子を報告書に記録しました。この報告書の中で、アメリカの国民性や社会の成り立ちについて説明された内容として、最も適切なものはどれですか。（2024年 愛知公立入試 類似）

1. 多様な地域からの移民によって国家が構成されており、国民が自立して社会を運営しようとする自治の精神が強い。
2. 古くからの伝統的な身分制度を重視しており、国王を中心とした強力な中央集権体制によって社会が安定している。
3. キリスト教の特定の宗派を国教として定めており、国民の思想や生活が厳格な宗教規範によって統一されている。
4. 農業を国の基盤としており、広大な土地を所有する貴族層が政治や経済の全権を掌握している。

問7 18世紀後半のイギリスに始まり、明治時代の日本にも導入された技術革新について説明します。それまでの人や家畜の力に代わり、石炭などを燃料として得られる熱を利用した装置を動力源として、機械を動かす仕組みが普及しました。この仕組みにおいて中心的な役割を果たした動力の名称として、最も適切なものを選びなさい。（2016年 長野県公立入試 類似）

1. 蒸気
2. 電力
3. 地熱
4. 人力

問8 1900年の義和団事件から1914年の第一次世界大戦開戦までの期間において、中国で起きた歴史的出来事とその意義について説明したものととして、最も適切な記述はどれですか。（2020年 千葉県公立入試 類似）

1. 辛亥革命によって清が滅亡し、アジア初の共和国として中華民国が成立した。
2. 日清戦争の敗北を受けて、毛沢東による社会主義国家の建設が始まった。
3. 外国勢力を排除した清が、日本の明治維新を模範とした絶対王政を確立した。
4. ヨーロッパ諸国の支援を受けた孫文が、清を再興して立憲君主制を導入した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 伝統美術の価値を再発見した岡倉天心が、日本画の復興や文化財の保護を通じて文化の継承に貢献した。	岡倉天心の思想は、単なる懐古主義ではなく、過去の文化を深く研究した上で、それを現代にどう活かすかという「主体的な進歩」を重視するものでした。彼は、西洋画の手法を取り入れつつも日本固有の表現を追求し、後世に多くの文化財や芸術教育の基盤を残しました。これは、無批判な西洋化に対する警鐘としての役割も果たしていました。
問2	答え 1 三・一独立運動	アメリカのウィルソン大統領が唱えた「民族自決」の原則に刺激を受け、1919年3月1日に京城（現在のソウル）での独立宣言から始まったのが三・一独立運動です。日本は武力でこれを鎮圧しましたが、その後、統治の方針を「武断政治」から「文化政治」と呼ばれる、一定の有和政策を取り入れた形式へ変更せざるを得なくなりました。五・四運動は同年、中国で起きた抗日運動です。
問3	答え 1 朝鮮政府が反乱鎮圧のために清に援軍を求めたことに対抗し、日本も居留民保護などを理由に出兵して、現地で両軍が衝突した。	甲午農民戦争の勢力が拡大したことに危機感を抱いた朝鮮政府は、宗主国であった清に援軍を依頼しました。これに対し、日本は清の朝鮮への影響力が強まることを警戒し、居留民の保護や以前に結んだ条約（天津条約）などを背景に出兵を強行しました。反乱軍と政府の間で和睦が成立した後も両軍は撤退せず、朝鮮の主導権をめぐる対立が深まった結果、日清戦争が開戦しました。
問4	答え 1 官営の八幡製鉄所が設立され、日本の産業において重工業が発展するきっかけとなった。	八幡製鉄所の操業開始は1901年であり、日清戦争（1894-95年）と日露戦争（1904-05年）の間の時期にあたります。鹿鳴館の建設は憲法公布前の1883年、普通選挙法の制定は1925年、国家総動員法の制定は日中戦争開始後の1938年であるため、1889年から1919年の間に該当するのは八幡製鉄所の設立となります。
問5	答え 1 下関条約で日本への割譲が決まった遼東半島を、清に返還すること	日清戦争に勝利した日本は、下関条約によって清から遼東半島や台湾などを譲り受けることになりました。しかし、東アジアへの進出を狙っていたロシアは、日本の勢力拡大を警戒し、ドイツ・フランスとともに日本へ圧力をかけました。これを三国干渉と呼び、日本はやむを得ず遼東半島を清に返還しました。この出来事は、その後の日本における対露感情の悪化や軍備拡張のきっかけとなりました。
問6	答え 1 多様な地域からの移民によって国家が構成されており、国民が自立して社会を運営しようとする自治の精神が強い。	岩倉使節団の視察記録である『米欧回覧実記』には、アメリカ合衆国がヨーロッパの文化を継承しつつも、多様な背景を持つ移民によって形成された新しい国家であると記されています。特に、国民一人ひとりが独立心を持ち、自らの手で社会を築き上げようとする「自治の精神」が、アメリカの発展を支える力強いエネルギーとして強調されました。
問7	答え 1 蒸気	イギリスで始まった産業革命では、石炭を燃料とする蒸気機関が実用化され、それまでの手作業や水車、家畜の力に代わる強力な動力源となりました。この技術革新は明治時代の日本にも導入され、工場での大規模な機械生産を可能にしました。
問8	答え 1 辛亥革命によって清が滅亡し、アジア初の共和国として中華民国が成立した。	19世紀末の義和団事件以降、中国（清）では列強による侵食が進み、近代化と民族の独立を求める動きが加速しました。1911年の辛亥革命を経て、1912年に孫文が臨時大総統に就任して中華民国を建国したことで、2000年以上続いてきた中国の皇帝政治が終焉を迎えました。これは、第一次世界大戦が始まる直前のアジアにおける最も重要な政治的変化の一つです。